



Initialization ウィザードでのシステムの設定

ここでは、初期設定プロセスについて説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [Initialization ウィザードの概要 \(P.24\)](#)
- [Cisco CME の Initialization ウィザードの起動 \(P.28\)](#)



(注)

Web ブラウザとして Microsoft Internet Explorer Version 6.0 以降を使用する必要があります。Netscape ブラウザは Cisco Unity Express ではサポートされません。

Initialization ウィザードの概要

ハードウェアとソフトウェアのインストール後、Cisco Unity Express GUI を起動します。GUI を使用すると、ユーザ、ボイスメールボックス、ボイスメールおよび自動受付のその他の機能を設定できます。

ここでは、Initialization ウィザードを使用するために必要な手順と情報について説明します。次の項があります。

- [Initialization ウィザードの詳細 \(P.24\)](#)
- [Initialization ウィザードに必要なコンフィギュレーションデータ \(P.25\)](#)
- [アクティビティタイマー \(P.26\)](#)
- [Initialization ウィザードのウィンドウのボタン \(P.27\)](#)

Initialization ウィザードの詳細

Initialization ウィザードは、Cisco Unity Express の設定を支援する一連のウィンドウからなるソフトウェア ツールです。このウィザードは、GUI へ初めてログインしたときに自動的に起動します。

ウィザードのウィンドウに表示される情報の中には、Cisco CallManager または Cisco CallManager Express (CME) システムのインストール時に設定されたシステム パラメータからの情報もあります。次に例を示します。

- 電話ユーザとその内線番号
- IP アドレスと Cisco CME ルータ
- メッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) のオンおよびオフの電話番号

残りのウィザード情報は、Cisco Unity Express によって計算されるデフォルト値、または指定する必要がある値です。次に例を示します。

- Cisco Unity Express 管理者のユーザ ID とパスワード
- メールボックスを割り当てる必要があるユーザ
- 各ユーザ、特に複数の内線番号を持つユーザのプライマリ内線番号
- 管理特権を割り当てられるユーザ
- Call Forward No Answer (CFNA) 特権または Call Forward Busy (CFB) 特権を割り当てられるユーザ
- 新規メールボックスのサイズ
- ボイスメール メッセージの最大長
- システムにメッセージを保存できる時間の長さ
- パスワードと Personal Identification Number (PIN) のどちらが新規ユーザに必要なか
- ボイスメール システム、自動受付システム、オペレータ、および AVT にアクセスするための電話番号

これらの値の詳細については、次の項の「[Initialization ウィザードに必要なコンフィギュレーションデータ](#)」を参照してください。

ウィザードのウィンドウで必要なデータをすべて入力すると、システムによって Cisco Unity Express および Cisco CallManager または Cisco CME のデータベースが更新され、新しい情報が反映されます。この時点で、システムにログインして、任意のユーザ、メールボックス、またはシステム コンポーネントの情報を追加または変更できるようになります。

Initialization ウィザードに必要なコンフィギュレーション データ

次の情報を求める一連のウィンドウが表示されます。

- (必須) Initialization ウィザードを起動するには、Cisco Unity Express アプリケーションを含むモジュールの IP アドレスが必要です。
- (必須) Cisco CME Web 管理者のユーザ名とパスワード。

Cisco CME では、管理者がルータおよびその他のシステム コンポーネントを設定する必要があります。システム インストーラは、システムへのログインに使用されるユーザ ID とパスワードを作成し、Cisco CME ハードウェアおよびソフトウェア パラメータを設定します。

Cisco CME は、この管理者を電話ユーザとして扱いません。

Cisco CME 管理者は、Cisco Unity Express を設定できません。インストール後のプロセスで、システム インストーラは、Cisco Unity Express ソフトウェアにログインして Cisco Unity Express アプリケーションとその他のパラメータを設定する管理者のユーザ ID とパスワードを作成します。

- (必須) 各電話ユーザの名前、ユーザ ID および内線番号、ユーザにボイスメールボックスが必要かどうか、どのユーザが管理者として識別されるか。管理者はボイスメール パラメータと自動受付パラメータにフルアクセスできます。管理者以外のボイスメールユーザは、システム設定タスクへのアクセスが制限されます。

ユーザが Cisco CallManager または Cisco CME ソフトウェアで設定されている場合もあります。それらのユーザの一部またはすべてを Cisco Unity Express データベースにコピーできます。

ユーザまたは内線番号によっては、ボイスメールボックスが必要ない場合もあります。たとえば、ロビーの内線番号、会議室の内線番号、または来客室の内線番号にはメールボックスを割り当てるべきではありません。メールボックス格納域が効率的に使用されるように、各内線番号の目的を注意深く確認してください。

- (必須) 内線で Call Forward No Answer/Call Forward Busy (CFNA/CFB) 機能を使用可能にするユーザ。
- (必須) パスワードと Personal Identification Number (PIN) を処理するポリシー。



(注) ボイスメール システムのセキュリティのレベルを決める必要があります。新規ユーザに GUI へアクセスするためのパスワードやボイスメールボックスへアクセスするための PIN を要求することにより、不正なユーザがシステムや別のユーザのメールボックスにアクセスしにくくなります。一方、パスワードや PIN を割り当てなければ、ユーザがシステムやメールボックスに初めてアクセスするのが容易になります。

Cisco Unity Express が新規ユーザごとにランダム パスワードとランダム PIN を生成するか、あるいはパスワードと PIN を空白にするかを決定します。どちらの場合も、新規ユーザおよび Cisco CallManager または Cisco CME からコピーされた各ユーザは、システムに初めてログインしたときにパスワードと PIN を変更する必要があります。

- (オプション) ボイスメール システムにアクセスしたときにユーザが聞くデフォルト言語。
デフォルト言語は、英語、ヨーロッパ フランス語、ドイツ語、またはヨーロッパ スペイン語で、Cisco Unity Express の購入時に選択されます。
- (オプション) デフォルト メールボックス サイズ。

メールボックス サイズは、ユーザのボックスに保存される全メッセージの合計秒数を表します。Cisco Unity Express は、システム上のメールボックスの最大数と最大格納域に基づいてデフォルト値を計算します。デフォルトよりも多い格納域または少ない格納域を必要とする個々のユーザに対して、サイズ値を変更できます。

- (オプション) デフォルト メッセージ長。
メッセージ サイズは、ボイスメールボックス内に保存されるメッセージの最大秒数を示します。発信者がそれよりも長いメッセージを残そうとすると、最大時間に達したときに通話が切断されます。Cisco Unity Express は、メールボックスのデフォルト格納域に基づいてデフォルト値を計算します。デフォルトよりも長いメッセージを必要とする個々のユーザに対しては、長さの値を変更できます。
- (オプション) デフォルト メッセージ格納時間。
メッセージ格納時間は、システムが古いメッセージを保存しておく日数です。メッセージがこの格納時間に近づくと、システムは、再保存しないとメッセージが削除されることをユーザに知らせます。ユーザが何の操作もせず最大格納時間に達した場合、システムはメッセージを削除します。
- (必須) 次の電話番号。
 - ボイスメール システム
ユーザがボイスメール システムの電話番号をダイヤルすると、ボイス メッセージを聞くことができます。
 - ボイスメール オペレータの内線番号
ボイスメール システムで、ユーザがボイスメール オペレータの内線番号をダイヤルすると、ボイスメール オペレータにつながります。
 - 自動受付
発信者が自動受付の電話番号をダイヤルすると、自動受付システムにつながります。
 - 自動受付オペレータの内線番号
自動受付アプリケーションは、発信者がオペレータ用の「0」を押すと、自動受付オペレータの内線番号をダイヤルします。
 - Administration via Telephone (AVT) 番号
管理者は、AVT にアクセスしてプロンプトやグリーティングを作成する場合に AVT 番号をダイヤルします。



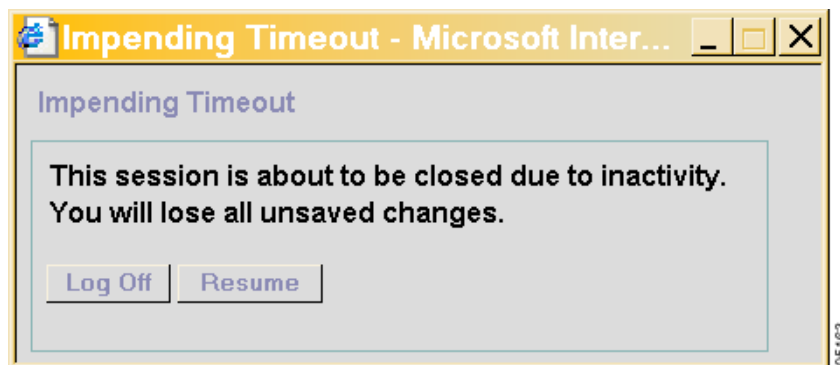
注意

ボイスメールの電話番号、自動受付の電話番号、および AVT 番号は固有の値である必要があります。固有でないと、ユーザはボイスメール システム内でオペレータに電話をかけようとしても、ボイスメール システムまたは AVT へ戻されます。また、外部の発信者がオペレータ用のボタンを押したときに、ボイスメール システムまたは AVT へ接続される可能性があります。

- (オプション) MWI オンおよびオフの番号
MWI オンおよびオフの番号は、内線番号のメッセージ ウェイティング ライトのオンとオフを切り替えるため内線番号とともにダイヤルされます。これらの番号を Cisco CME インストール時に設定した場合は、Initialization ウィザード ウィンドウにそれが表示されます。これらの番号は初期化手順または後で変更できます。

アクティビティ タイマー

システムには、GUI が使用されているかどうかを確認するタイマーがあります。GUI の開始後、ウィンドウまたはフィールドにしばらくアクセスしないっていると、タイマーが時間切れになる少し前に次のウィンドウが表示されます。



Resume をクリックしないと、システムはユーザのアクティビティをキャンセルし、GUI からログオフさせます。保存されていないデータは失われます。Initialization ウィザードを実行する際は、適切なコンフィギュレーション情報がすべて入手可能であることを確認してください。

Initialization ウィザードのウィンドウのボタン

表 6 で、Initialization ウィザードのウィンドウで使用されるボタンについて説明します。その他の GUI ウィンドウでは、これらは使用されません。

表 6 Initialization ウィザードのウィンドウのボタン

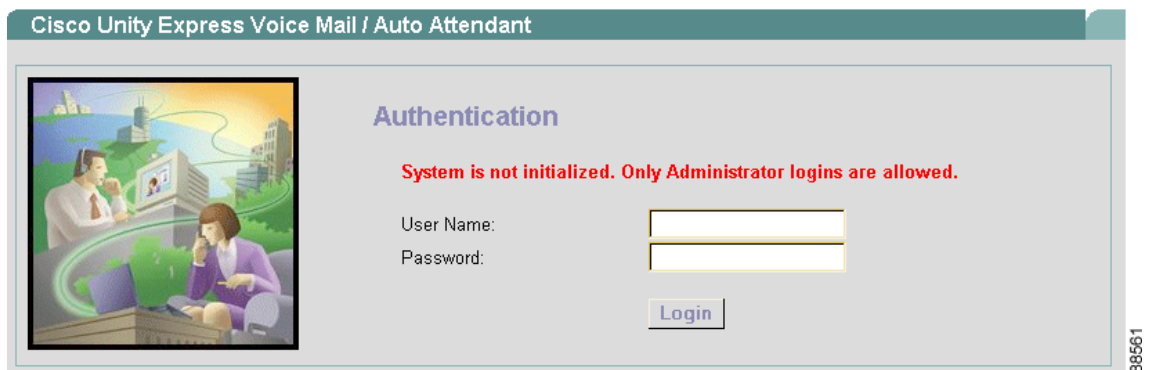
ボタン	用途
Back	前のウィンドウに戻る場合にクリックします。
Next	次のウィンドウへ移動する場合にクリックします。
Finish	初期化手順を終了し、データベースにデータを保存する場合にクリックします。
Cancel	初期化手順を停止する場合にクリックします。データ入力は保存されません。
Help	ウィンドウのフィールドに関する情報を示すヘルプ ウィンドウを開く場合にクリックします。

Cisco CME の Initialization ウィザードの起動

Cisco CME システムの Initialization ウィザードを起動するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** PC で Web ブラウザ（Microsoft Internet Explorer Version 6.0 以降を推奨）を開きます。
- ステップ 2** **Address** ボックスで、**http://a.b.c.d/Web** と入力します。ここで、**a.b.c.d** はモジュールの IP アドレスです。ここに示されているように、**Web** は大文字と小文字を区別して入力してください。

Authentication ウィンドウが表示されます。



- ステップ 3** **User Name** フィールドで、Cisco Unity Express 管理者のユーザ ID を入力します。ユーザ ID には大文字小文字の区別があります。ユーザ ID を入力する際は、大文字と小文字を正しく使用してください。



(注) この管理者 ID とパスワードは、ソフトウェアのインストール プロセスでインストーラによって作成されたものです。この ID は、Cisco Unity Express へのログインにだけ使用され、電話ユーザとは見なされません。

- ステップ 4** **Password** フィールドへ Tab キーで移動するかまたはフィールドをクリックして、Cisco Unity Express 管理者のパスワードを入力します。パスワードには大文字小文字の区別があります。パスワードを入力する際は、大文字と小文字を正しく使用してください。パスワードの各文字に対してアスタリスク (*) が表示されます。

- ステップ 5** **Login** をクリックします。

Cisco Unity Express ウィンドウが表示されます。

Cisco CallManager Express
> Powered by Cisco IOS®

Cisco Unity Express

Use the Initialization Wizard to setup Cisco Unity Express (CUE) for the first time. The wizard will take you through:

- Creating CUE user accounts and mailboxes in one step, by importing users from Cisco CallManager Express,
- Setting system defaults, and
- Setting the call handling numbers.

[View current settings](#)
[Run Initialization Wizard \(recommended\)](#)
[Skip Initialization Wizard and Log off \(experts only\)](#)
[Log off \(Run Initialization Wizard later\)](#)

このウィンドウから、次のオプションを使用できます。

- **View current settings** : このオプションを使用すると、Cisco CME ソフトウェアのインストール時に定義されたいくつかのシステム パラメータが表示されます。後述の [ステップ 6](#) を参照してください。
- **Run Initialization Wizard** : このオプションを使用すると、Initialization ウィザード コンフィギュレーション手順が開始されます。後述の [ステップ 8](#) を参照してください。
- **Skip Initialization Wizard and Log off** : このオプションは、Cisco Unity Express CLI コマンドインターフェイスを使用してシステム パラメータを設定する場合にだけ選択します。
- **Log off (Run Initialization Wizard later)** : このオプションを使用すると、Initialization ウィザードを起動せずにシステムからログオフします。Initialization ウィザードは後で実行できます。

ステップ 6 システム パラメータの現在の設定を表示するため、**View current settings** をクリックします。

Current Settings ウィンドウが表示されます。

Current Settings

Cancel Help

Language:	German (Germany)
Mailbox Size:	3000 seconds
Maximum Caller Message Size:	60 seconds
Message Expiry Time:	30 days
Voice Mail Number:	
Auto Attendant Access Number:	
Voice Mail Operator Extension:	0
Auto Attendant Operator Extension:	0
Administration via Telephone Call-in number:	
MWI on Number:	8000
MWI off Number:	8001

Cisco CME の Initialization ウィザードの起動

これらの値は、Cisco CME アプリケーションのインストール時に設定されます。このウィンドウでこれらを変更することはできません。値を変更するには、Initialization ウィザードを実行してください。

ステップ 7 **Cancel** をクリックしてこのウィンドウを閉じます。**Cisco Unity Express** ウィンドウが再び表示されます。

ステップ 8 Initialization ウィザードを開始するため、**Run Initialization Wizard** をクリックします。

CallManager Express Login ウィンドウが表示されます。

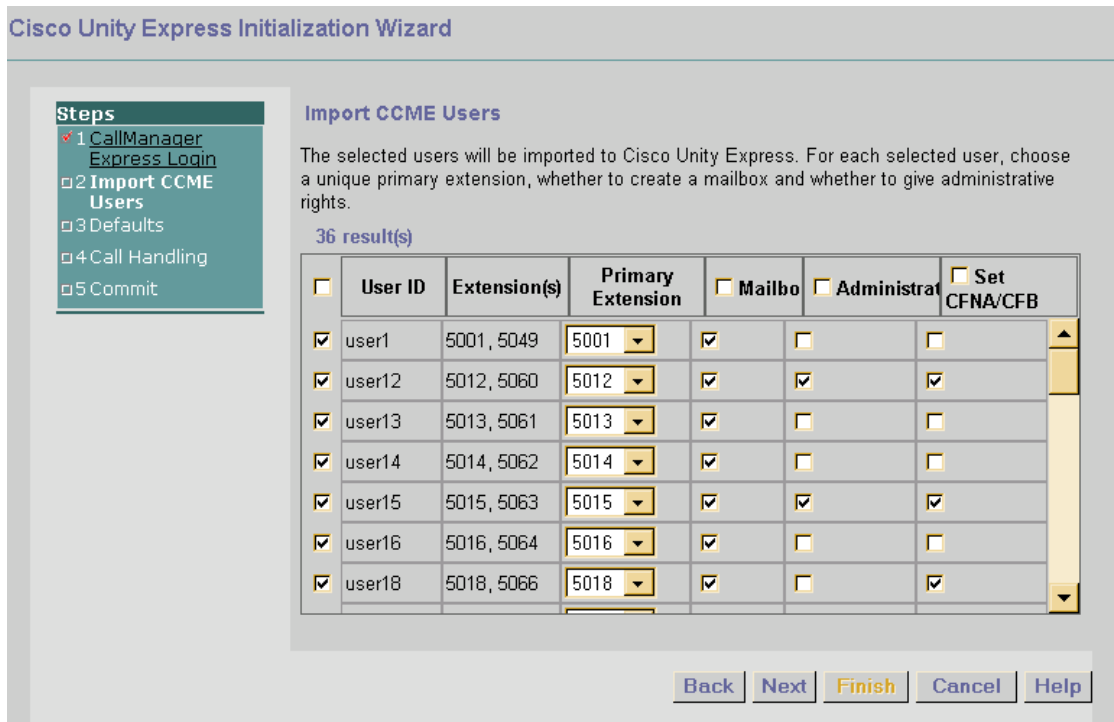
ステップ 9 Cisco CME ルータの IP アドレスが **Hostname** フィールドに表示されます。この値は Cisco CME のインストール時に設定されたものであり、ここで変更することはできません。

ステップ 10 User Name フィールドで、Cisco CME Web 管理者のユーザ ID を入力します。

ステップ 11 Password フィールドで、Cisco CME Web 管理者のパスワードを入力します。

ステップ 12 **Next** をクリックします。

Import CCME Users ウィンドウが表示されます。



このウィンドウを使用すると、Cisco CME で設定されたユーザ データを Cisco Unity Express データベースにコピーできます。このウィンドウには、Cisco CME ソフトウェアのインストール時に設定されたユーザがすべて表示されます。それらのユーザの一部またはすべてを Cisco Unity Express データベースにコピーできます。各ユーザ名の隣のチェックボックスは自動的にオンになります。

表 7 で、このウィンドウのカラムについて説明します。

表 7 Import Users ウィンドウのカラム

カラム	説明
User ID	電話ユーザの ID。
Extension(s)	ユーザに割り当てられた 1 つまたは複数の内線番号。
Primary Extension	ボイスメールボックスに割り当てる必要のあるユーザの内線番号。
Mailbox	ユーザのメールボックスを作成するオプション。
Administrator	1 人または複数のユーザに Cisco Unity Express システムのパラメータを設定する許可を割り当てるオプション。
Set CFNA/CFB	ユーザの Call Forward No Answer/Call Forward Busy 機能を使用可能にするオプション。

ステップ 13 次のいずれかを実行します。

- ユーザが表示されない場合は、ステップ 19 へ進んでください。初期化プロセスの完了後、ユーザを設定します。
- ユーザがリストされた場合は、ステップ 14 へ進んでください。

ステップ 14 ユーザ ID の隣にあるチェックボックスをオフにしない限り、リスト内の全ユーザが Cisco Unity Express データベースにコピーされます。ユーザの名前の左側にあるカラムで、次のいずれかを実行します。

- リスト内の全ユーザを Cisco Unity Express データベースにコピーする場合は、チェックボックスをオンにしたまま **ステップ 15** へ進みます。
- チェックボックスをオフにするには、Cisco Unity Express データベースにコピーしない各ユーザ ID の隣にあるチェックボックスをクリックします。Cisco Unity Express データベースに入っていないユーザには、ボイスメールボックスが割り当てられません。

ステップ 15 Primary Extension カラムで、ドロップダウン メニューを使用してそのユーザのプライマリ内線番号を選択します。

プライマリ内線番号は、ボイスメール メッセージの保存および取得のためのメールボックスです。ユーザにプライマリ内線番号が指定されていない場合、そのユーザはボイスメール メッセージを受信または取得できません。

このフィールドに **None** と表示された場合は、ユーザに対して表示される内線番号のどれもプライマリ内線番号ではないことを意味します。ここで、このユーザに対してメールボックスを指定することができますが、後でユーザのプライマリ内線番号を設定するまで、ユーザはそのメールボックスにアクセスできません。

ステップ 16 Mailbox カラムで、次のいずれかを実行します。

- 全ユーザのメールボックスを作成するには、**Mailbox** の隣にあるチェックボックスをオンにします。この操作により、カラム内の各ユーザのチェックボックスがオンになります。Cisco Unity Express は、初期化プロセスが完了時にメールボックスを作成します。



(注) このチェックボックスをオンにすると、リストに示される全ユーザに対してメールボックスが作成されます。**ステップ 14** で特定のユーザを選択した場合は、このチェックボックスをオンにしないでください。

- 特定のユーザのメールボックスを作成するには、メールボックスを割り当てる各ユーザの **Mailbox** カラムでチェックボックスをオンにします。

ステップ 17 Administrator カラムで、次のいずれかを実行します。



(注) 管理者は、すべてのシステム コンフィギュレーション機能およびメンテナンス機能にアクセスできます。

- すべてのユーザが Cisco Unity Express システムを設定できるようにするには、**Administrator** の隣にあるチェックボックスをオンにします。**ステップ 14** で特定のユーザを選択した場合は、このチェックボックスをオンにしないでください。
- 特定のユーザがシステムを設定できるようにするには、この許可を与えるユーザの隣にある **Administrator** カラムのチェックボックスをオンにします。

ステップ 18 Set CFNA/CFB フィールドで、次のいずれかを実行します。

- すべてのユーザが Call Forward No Answer/Call Forward Busy 機能を使用可能にできるようにする場合は、Set CFNA/CFB の隣にあるチェックボックスをオンにします。ステップ 14 で特定のユーザを選択した場合は、このチェックボックスをオンにしないでください。
- 特定のユーザが Call Forward No Answer/Call Forward Busy 機能を使用可能にできるようにする場合は、この許可を与えるユーザの隣にある Set CFNA/CFB カラムのチェックボックスをオンにします。

ステップ 19 Next をクリックします。

Defaults ウィンドウが表示されます。

このウィンドウに表示される値は Cisco Unity Express のデフォルト値です。これらの値は、ボイスメールシステム内のすべてのユーザおよびメールボックスに適用されます。

ステップ 20 Language フィールドは、電話ユーザに対して再生されるすべてのボイスメールシステムメッセージおよびプロンプトに使用される言語を示します。Release 2.0 以降では、Cisco Unity Express とともにお問い合わせいただいた言語が表示されます。

ステップ 21 Password & PIN options フィールドで、次の手順を実行します。



ボイスメールシステムのセキュリティのレベルを決める必要があります。新規ユーザに GUI へアクセスするためのパスワードやボイスメールボックスへアクセスするための PIN を要求することにより、不正なユーザがシステムや別のユーザのメールボックスにアクセスしにくくなります。一方、パスワードや PIN を割り当てなければ、ユーザがシステムやメールボックスに初めてアクセスするのが容易になります。Cisco Unity Express が新規ユーザごとにランダムパスワードとランダム PIN を生成するか、あるいはパスワードと PIN を空白にするかを決定します。どちらの場合も、ユーザはシステムへ初めてログインしたときにパスワードと PIN を変更するよう求められます。

- デフォルトでは、各ユーザに対してランダム パスワードが生成されます。すべての新規ユーザのパスワードを空白にしておくには、オプション ボタン **Blank password** をクリックします。
- デフォルトでは、各ユーザに対して PIN が生成されます。すべての新規ユーザの PIN を空白にしておくには、オプション ボタン **Blank PIN** をクリックします。

次の 3 つのフィールドの値は、自動的にすべての新規メールボックスに割り当てられます。

ステップ 22 Mailbox Size フィールドに、各メールボックスに割り当てるメッセージの最大格納秒数を入力します。

ステップ 23 Maximum Caller Message Size フィールドに、ボイスメール システムに保存するメッセージの最大長の秒数を入力します。

ステップ 24 Message Expiry Time フィールドに、古いメッセージを保存しておく日数を入力します。メッセージの保存期間がこれに達したら、ユーザはそのメッセージを再保存または削除できます。

ステップ 25 Next をクリックします。

Call Handling ウィンドウが表示されます。

Cisco Unity Express Initialization Wizard

Steps

- 1 CallManager Express Login
- 2 Import CCME Users
- 3 Defaults
- 4 Call Handling
- 5 Commit

Call Handling

Enter the Call in Numbers for Voice Mail, Auto Attendant and the Administration via telephone (AVT) system.

Voice Mail Number *: 5000

Voice Mail Operator Extension *: 1000

Auto Attendant Access Number: 12225550150

Auto Attendant Operator Extension: 8000

Administration via Telephone Number: 1111

MWI on Number : 2222....

MWI off Number : 2221....

* indicates a mandatory field

Back Next Finish Cancel Help

127733

Cisco Unity Express CLI コマンドで事前に設定されていない場合、これらのフィールドは空白になります。

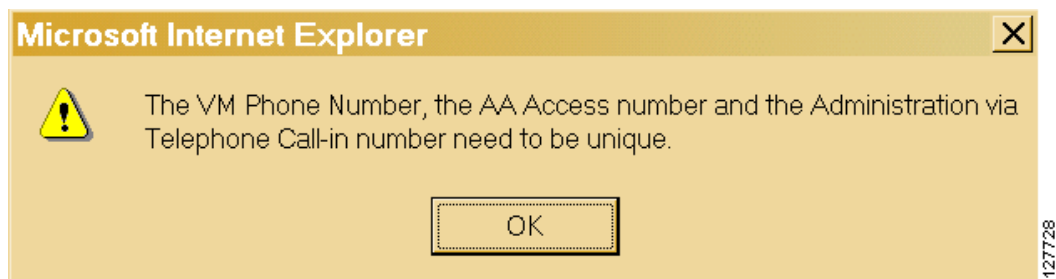


注意

Voice Mail Number フィールド、**Auto Attendant Access Number** フィールド、および **Administration via Telephone Number** フィールドには、異なる値を入力する必要があります。異なる値でないと、ユーザはボイスメール システム内でオペレータに電話をかけようとしても、ボイスメール システムまたは AVT へ戻されます。また、外部の発信者がオペレータに電話をかけようとしたときに、ボイスメール システムまたは AVT へ接続される可能性があります。

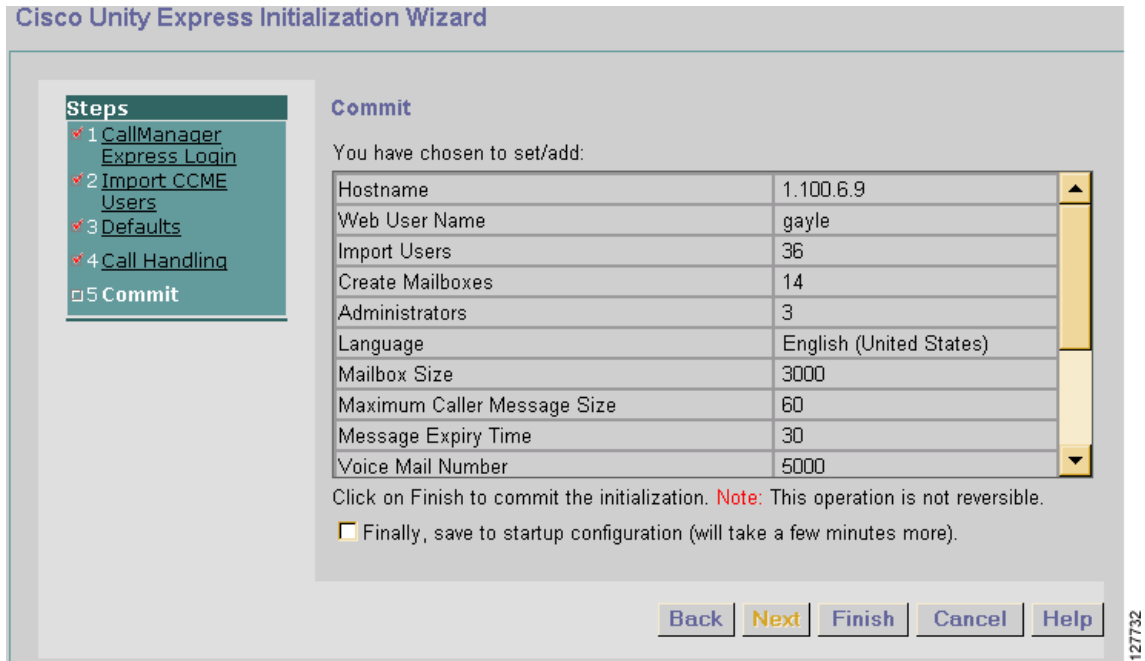
- ステップ 26 Voice Mail Number** フィールドに、ユーザがボイス メッセージを取得するためにダイヤルする電話番号を入力します。電話番号には、スペース、ダッシュ、ピリオドは使用できません。
- ステップ 27 Voice Mail Operator Extension** フィールドに、ボイスメール オペレータの内線電話番号を入力します。ボイスメール ユーザがこの内線番号をダイヤルすると、オペレータにつながります。
- ステップ 28 (オプション) Auto Attendant Access Number** フィールドで、発信者が自動受付にアクセスするためにダイヤルする電話番号を入力します。
- ステップ 29 (オプション) Auto Attendant Operator Extension** フィールドに、自動受付オペレータの内線電話番号を入力します。発信者がオペレータ用の「0」を押すと、自動受付によってこの内線番号がダイヤルされます。
- ステップ 30 (オプション) Administration via Telephone Number** フィールドに、管理者が AVT にアクセスするためにダイヤルする電話番号または内線番号を入力します (管理者は、プロンプトやグリーティングを変更または作成する場合に AVT にアクセスします)。
- ステップ 31 (オプション) MWI on Number** フィールドに、別の内線番号を入力します。システムはこの内線番号をユーザの内線番号とともに使用し、ユーザの MWI ライトをオンにします。
- ステップ 32 (オプション) MWI off Number** フィールドに、別の内線番号を入力します。システムはこの内線番号をユーザの内線番号とともに使用し、ユーザの MWI ライトをオフにします。
- ステップ 33** **Next** をクリックします。

Voice Mail Number、**Auto Attendant Access Number**、および **Administration via Telephone Number** フィールドのいずれか 2 つが同じ番号である場合は、エラー メッセージが表示されます。

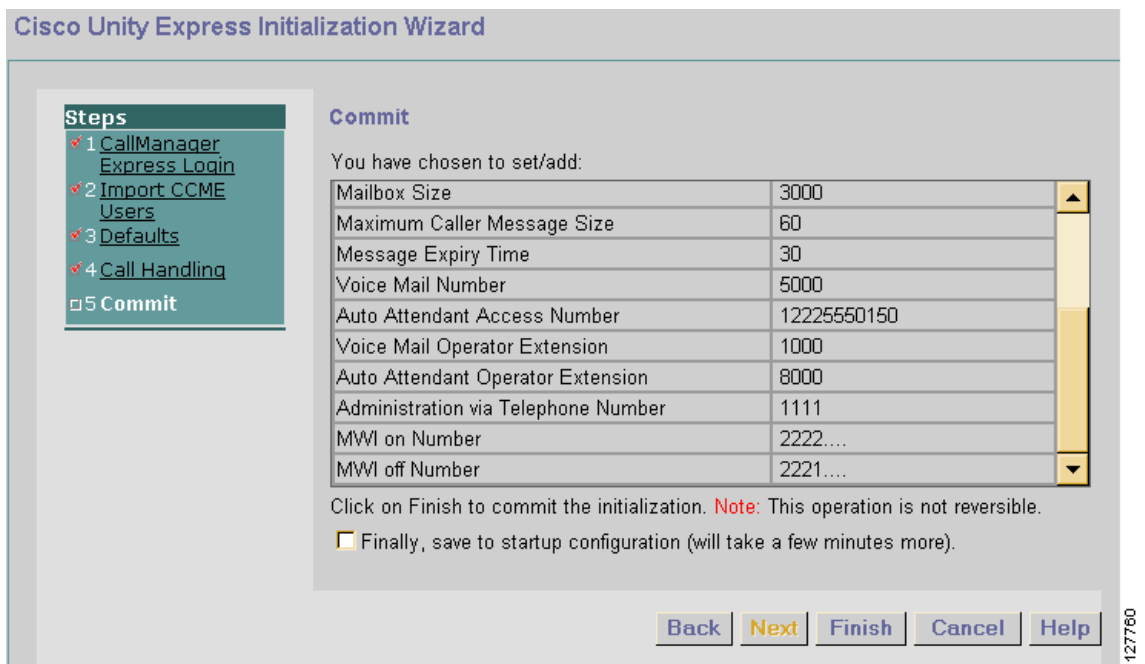


- ステップ 34** OK をクリックし、[ステップ 26](#) ~ [ステップ 33](#) を繰り返します。

2 つの **Commit** ウィンドウのうち最初のウィンドウが表示されます。



このウィンドウには、初期化パラメータの現在の値が表示されます。その他のパラメータを表示するには、スクロールバーを使用します。



この時点では、これらの値は Cisco Unity Express データベースに保存されていません。

ステップ 35 値が正しくない場合は、**Back** をクリックして必要なウィンドウに戻り、値を変更します。

ステップ 36 値がすべて正しければ、値を保存するため **Finally** の隣にあるチェックボックスをオンにします。

MWI off Number 2221....

Click on Finish to commit the initialization. **Note:** This operation is not reversible.

Finally, save to startup configuration (will take a few minutes more).

103611

ステップ 37 **Finish** をクリックして初期化を完了します。

デフォルト値は Cisco Unity Express データベースに保存されています。Administrators グループが作成されます。



(注) これらのパラメータは、P.50 の「Cisco Unity Express GUI ウィンドウのナビゲート」で説明されているその他のメニュー オプションを使用して変更できます。

Initialization Wizard Status ウィンドウが表示されます。

Cisco Unity Express Initialization Wizard Status

Help

Auto-generated authentication information:

User ID	Password	PIN
user1	agd852952	8807
user12	fvz130586	8550
user13	vbm522770	3556
user14	clt187821	1310
user15	dqc616824	8811
user16	tcj485544	4009
user18	bwk697010	8492
user22	chx754675	4437

Defaults: Updated

User Creation: 36 Success

Mailbox Creation: 14 Success

Voicemail application creation: Success

Auto Attendant application creation: Success

Administration via Telephone application creation: Success

MWI application creation: Success

IOS CLI update: Success

Save to startup configuration: Success

[Logout](#)

127729

表 8 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 8 Initialization Wizard Status ウィンドウのフィールド

フィールド	説明
User ID	Cisco CME データベースからコピーされる各ユーザのログイン ID。
Password	各ユーザ ID に対して生成されるパスワード。Defaults ウィンドウで Blank Password を選択した場合、このカラムは空白になります。
PIN	各ユーザ ID に対して生成される PIN。Defaults ウィンドウで Blank PIN を選択した場合、このカラムは空白になります。
Defaults	メールボックス サイズ、メッセージの長さ、メッセージの有効期限、パスワードと PIN の生成、および MWI オンとオフの番号のステータス。
User Creation	Cisco Unity Express データベース内で選択した Cisco CME ユーザの作成のステータス。
Mailbox Creation	選択したユーザのボイスメールボックスの作成のステータス。
Voicemail application creation	ボイスメール システムの初期化とボイスメール システムの電話番号の保存のステータス。
Auto Attendant application creation	デフォルト自動受付アプリケーションの初期化と自動受付電話番号の保存のステータス。
Administration via Telephone application creation	AVT アプリケーションの初期化と AVT 電話番号の保存のステータス。
MWI application creation	MWI アプリケーションの初期化と MWI 内線番号の保存のステータス。
IOS CLI update	指定された内線番号での CFNA/CFB 機能の使用可能化など、Initialization ウィザードのフィールドに入力されたオプションおよび値での、対応する Cisco IOS CLI コマンドの更新のステータス。
Save to startup configuration	Initialization ウィザードのフィールドに入力されたオプションおよび値の、スタートアップ コンフィギュレーション データベースへの保存のステータス。



(注) ステータス フィールドのいずれかに **Failed** が表示される場合は、システムをインストールした担当者にお問い合わせください。

ステップ 38 各ユーザのユーザ ID とパスワードをメモしておいてください。それらを安全な場所に保管してください。

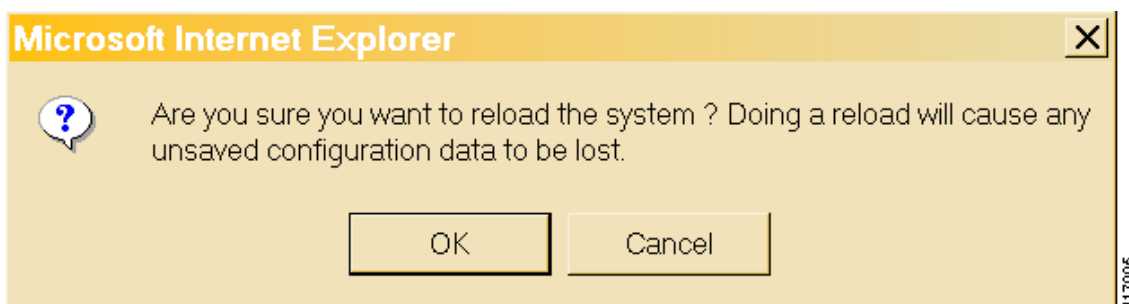
- 管理者のユーザ ID とパスワードを使用して Cisco Unity Express に再びログインします。
- これらのユーザ ID とパスワードをユーザに与えて、ユーザがそれぞれのボイスメールボックスにログインできるようにします。

ステップ 39 次のいずれかを実行します。



(注) データベースを更新して Initialization ウィザードで入力したユーザおよび値を反映させるには、Cisco Unity Express をリロードする必要があります。

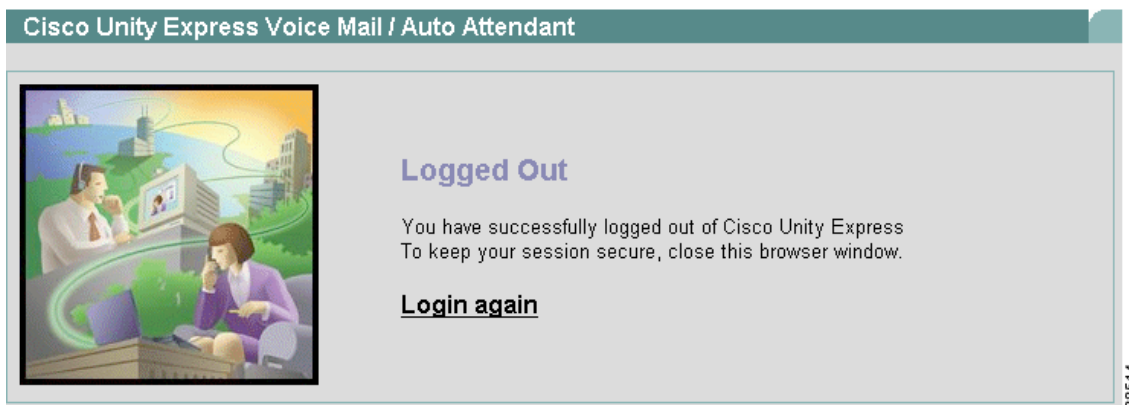
- **Logout** をクリックして Initialization ウィザードを終了します。Cisco Unity Express および Cisco CME がデータベースを更新してこれらのウィンドウで入力された値を反映することはありません。
- Cisco Unity Express および Cisco CME データベースを更新するには、**Reload Unity Express** をクリックしてください。確認ウィンドウが表示されます。



次のいずれかを実行します。

- **OK** をクリックしてリロードを開始します。データベースが更新される際、ウィンドウが一時停止する場合や、**Logged Out** ウィンドウが表示されてもしばらく応答しない場合があります。
- **Cancel** をクリックして、リロードせずに続行します。

Logged Out ウィンドウが表示されます。



ステップ 40 **Login again** をクリックして、GUI 管理環境を表示します。

パスワードを変更して Cisco Unity Express を起動する場合は、P.42 の「ボイスメール管理への初めてのログイン」を参照してください。

